

 評価のポイント

CL-2.看護実践能力：ケアする力

[34-2]「ショック」の基本的病態生理と回復過程

それぞれの問いについて、理由や根拠を用いて説明してみましょう。

1. ショックの原因をもう一度振り返ってみましょう。

ショックの原因は重症敗血症である。十分な輸液負荷を行っても、低血圧（収縮期血圧<90mmHg または、通常よりも40mmHg の低下）が、持続する全身性の著しい急性循環障害である。

2. ショックの予防には何が必要だったでしょう？

敗血症の原因を明らかにし、原因に対する治療が重要である。

3. 病態を悪化させないためには何が必要だったでしょうか？

本事例では離床当日の夜のバイタルサインの時点で敗血症が疑われるので、この時点での対処開始がポイントとなる。